

# こうすい 洪水ハザードマップ FLOOD HAZARD MAP

**洪水ハザードマップについて** 【地図をご覧いただく際の注意点】

- 台風や大雨によって、河川の氾濫、内水被害が発生した場合に想定される浸水範囲と浸水深及び避難所等を示した地図です。
- 地図に示した浸水の予想される範囲や浸水深は、任意の想定に基づいたシミュレーションの計算結果であり、土地の危険性を示すものではありません。また、浸水の予想されない範囲の安全性を保証するものではありません。
- 地図に示した浸水の予想される範囲以外でも、状況によっては浸水する可能性があります。
- 浸水の予想される範囲及び浸水深は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化する可能性があります。
- 国土交通省管理河川（多摩川水系多摩川、浅川、大栗川）洪水浸水想定区域図と東京都管理河川（浅川圏域、大栗川及び三沢川流域浸水想定区域図）では浸水範囲と浸水深が異なりますのでご注意ください。

## 浅川圏域、大栗川及び三沢川流域浸水予想区域図 土砂災害危険箇所図（急傾斜地崩壊危険箇所）

**浅川圏域、大栗川及び三沢川流域浸水予想区域図**について

作成主体：東京都都市型水害対策連絡会  
 作成年月日：平成20年9月4日  
 想定雨量：平成12年9月発生した東海豪雨 総雨量598mm、時間最大雨量114mm

※この地図の浸水予想区域とは、河川からあふれた水や、河川に到達する前の地盤の低い箇所、下水道の処理能力を超えてたまる水などによって浸水する範囲です。  
 ※この地図に示した浸水の予想される範囲以外でも、状況によっては浸水する可能性がありますので十分注意してください。

※「浅川圏域、大栗川及び三沢川流域浸水予想区域図」についての詳細なお問い合わせは、東京都建設局河川部計画課中小河川係 電話：03-5320-5414

**「土砂災害危険箇所（急傾斜地崩壊危険箇所）」について**

※市内の土砂災害危険箇所については、平成11～14年度の東京都の調査により、43箇所が急傾斜地崩壊危険箇所が確認されています。  
 ※急傾斜地崩壊危険箇所とは、傾斜度30度以上、かつ高5m以上の急斜面で、崩壊した場合に人家、または官公署、学校、病院等に被害を生ずるおそれがある箇所のことをいいます。  
 ※「土砂災害危険箇所（急傾斜地崩壊危険箇所）」についての詳細なお問い合わせは、東京都建設局河川部計画課調査係 電話：03-5320-5412  
 東京都建設局河川部建設事務所工事課河川設計係 電話：042-720-8644

**避難行動について**

避難には「**屋内安全確保（水平避難）**」と「**立退き避難（垂直避難）**」の2種類があります。

- 「**立退き避難（垂直避難）**とは、指定された避難所や、避難所以外の安全な場所、近隣の安全な場所等へ移動することです。避難所までの浸水深が浅い経路や、路地を避けた経路を通りましょう。避難するときは、動きやすい恰好で2人以上で行動しましょう。長い棒状のものでも地面を探りながら歩けば、側溝や排水路、ぶたが外れたマンホールなどに転落しないよう注意しましょう。
- 「**屋内安全確保（垂直避難）**とは、建物の2階以上など、より高い場所まで避難することです。洪水や大雨などが激しくなり、立退き避難のために屋外に出るはたがって危険な場合は、屋内のより安全な場所に避難しましょう。

●「**屋内安全確保（垂直避難）**を行う例」

- 夜間や急な降雨により、避難所までの経路にある危険箇所がわがかりにくい場合
- むすびで浸水(50cm以上)しており、歩くのが困難な場合
- 浸水は20cm程度だが、水の流れのスピードが早い場合

## 河川の水位と避難情報

水位観測所	多摩川		浅川		大栗川	
	石原	浅川橋	浅川橋	浅川橋	浅川橋	浅川橋
計測最高水位	594 cm	358 cm	369 cm			
計測最低水位	490 cm	260 cm	250 cm			
計測平常水位	430 cm	220 cm	200 cm			
計測最低平常水位	430 cm	220 cm	200 cm			
計測平常水位	400 cm	190 cm	130 cm			

  

国土交通省が発表する河川の洪水予報	多摩市が発表する避難情報	市民の皆さんがとる行動
<p><b>多摩川・浅川の洪水予報</b></p> <p>● 浸水発生情報 (危険レベル)</p> <p>● 浸水危険情報 (危険レベル)</p> <p>● 浸水警戒情報 (危険レベル)</p> <p>● 浸水注意情報 (危険レベル)</p>	<p><b>避難指示 (緊急)</b></p> <p><b>避難勧告</b></p> <p><b>避難準備・高齢者等避難開始</b></p>	<p>緊急避難してください。外が危険な場合は、屋内の高い所に緊急避難してください。</p> <p>速やかに予め決めた避難行動をとってください。外が危険な場合は、屋内の高い所に避難してください。</p> <p>お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子供がいっぱいる方など、避難に苦労される方、その避難を支援する方、予め決めた避難準備・避難開始してください。</p> <p>なお、避難所への避難が困難な場合は、近くの安全な場所に避難してください。その方については避難情報に注意し、危険と思ったら早めに避難してください。</p>

**凡例 Legend**

- 一時的避難場所 Temporary Evacuation Area
- 避難所・避難場所 Refuge & Safety Evacuation Area
- 避難場所 Safety Evacuation Area
- 避難所利用施設 Facility of people needing support
- アンダーパス Underpass
- 地下施設 Underground Facility
- 水溜りポンプ施設 Water Pump
- 河川監視カメラ River Surveillance Camera
- 水位観測所 River Water Level Observatory
- 急傾斜地崩壊危険箇所 Steep Slope Land Danger Zone
- 急傾斜地崩壊危険箇所 Steep Slope Land Danger Spot
- 河川 River
- 想定されるランク別浸水深

浸水深	色
2.0～5.0m未満	赤
1.0～2.0m未満	黄
0.5～1.0m未満	緑
0.2～0.5m未満	青



## 水害時は避難所・避難場所が変わります!

（ ）の避難所は、浸水時には使用できません。

避難場所一覧 Safety Evacuation Area	校名 School Name	所在地 Address	電話番号 Phone
多摩第一小学校	多摩第一小学校	関戸3-2-3	0376-7020
多摩第二小学校	多摩第二小学校	和道7-5	0376-7051
多摩第三小学校	多摩第三小学校	和道7-12	0376-7038
多摩第四小学校	多摩第四小学校	連光寺3-6-1	0373-1820
多摩第五小学校	多摩第五小学校	関戸1-5-0	0373-2631
多摩第六小学校	多摩第六小学校	関戸1-0-0	0371-4151
多摩第七小学校	多摩第七小学校	関戸5-4-3	0372-1860
多摩第八小学校	多摩第八小学校	関戸3-6-6	0374-0674
多摩第九小学校	多摩第九小学校	高島8-5	0374-0574
多摩第十小学校	多摩第十小学校	関戸6-4	0337-4010
多摩第十一小学校	多摩第十一小学校	関戸5-1-3	0371-4839
多摩第十二小学校	多摩第十二小学校	関戸1-1-3	0374-0854
多摩第十三小学校	多摩第十三小学校	関戸2-1-3	0376-0214
多摩第十四小学校	多摩第十四小学校	関戸3-3-9	0376-0234
多摩第十五小学校	多摩第十五小学校	関戸1-5-4	0371-3041
多摩第十六小学校	多摩第十六小学校	関戸1-1-1	0374-8681
多摩第十七小学校	多摩第十七小学校	関戸3-1-1	0375-7023
多摩第十八小学校	多摩第十八小学校	関戸1-5-2	0374-0781
多摩第十九小学校	多摩第十九小学校	関戸3-3-4	0371-4831
多摩第二十小学校	多摩第二十小学校	関戸5-1-2	0371-6834
多摩第二十一小学校	多摩第二十一小学校	関戸2-1-2	0374-0685
多摩第二十二小学校	多摩第二十二小学校	関戸3-5-1	0337-4020
多摩第二十三小学校	多摩第二十三小学校	関戸2-7-1	0371-3701
多摩第二十四小学校	多摩第二十四小学校	関戸4-1-4	0372-1861
多摩第二十五小学校	多摩第二十五小学校	関戸3-9-1	0376-1811
多摩第二十六小学校	多摩第二十六小学校	関戸1-1-1	0339-7121
多摩第二十七小学校	多摩第二十七小学校	関戸5-3-8	0374-0213
多摩第二十八小学校	多摩第二十八小学校	関戸3-2-2	0372-1010
多摩第二十九小学校	多摩第二十九小学校	関戸1-1-1	0374-8891

**大雨の時は様々な情報収集を!**

- 多摩市公式ホームページ <http://www.city.tama.lg.jp/>
- 多摩市の避難情報 <http://www.tdm.metro.tokyo.jp/p/hp-tama/index.html>
- 避難所・防災設備情報 <http://www.jna.go.jp/jna/index.html>
- 国土交通省関東地方整備局河川事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/kehiv/>
- 国土交通省河川防災情報 <http://www.river.go.jp/>
- 東京都防災情報 <http://www.kasen-sujo.metro.tokyo.jp/>
- 東京都下水道局 <http://www.tkyo-ame.wa.or.jp/>

● 多摩市から提供する情報  
 ● 市民の皆さんが情報収集する手段  
 ● 市民の皆さんがとる行動

## 多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域)

**「家屋倒壊等氾濫想定区域」について**

作成主体：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所  
 指定年月日：平成28年8月9日  
 指定雨量となる降雨：多摩川流域の48時間総雨量588mm

「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、堤防沿いの地域等において、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流が発生するおそれが高い区域です。この区域では、洪水時には避難勧告等に基づき安全な場所に速く避難する必要があります。したがって、水害ハザードマップに記載した「早期の立退き避難が必要となる区域」は、この区域も考慮して設定されています。

「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、一定の仮定を考慮して算定していることから、その区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。具体的な区域の算定にあたっては、以下のとおりです。

- 規定している洪水は、その中で生じる最大規模の洪水であり、その洪水により堤防が決壊して氾濫が発生することとしています。堤防はどの地点で決壊するかが分からないことから、各地で決壊した場合の計算結果を想定した区域としています。
- 避難所等のある家は直接避難の標準的な浸水深を想定しています。堤防決壊に伴う激しい流れによる家屋の流失、深い浸水に伴う家屋にかかる力が大きくなるため、河岸側浸水の発生による家屋の基礎を支える地盤の流失を想定しています。
- 堤防の宅地側には、家屋が氾濫による氾濫計算をします。

このため、例えば氾濫による家屋倒壊等氾濫想定区域にある頑固な家屋のみに限っては、避難所の指定は厳密ではなく、ただし立退き避難が必要と判断しない限りは使用できません。

**「家屋倒壊等氾濫が想定される区域」における避難行動**

凡例	避難行動
家屋が倒壊するおそれのある区域	最上層まで浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要
その他の浸水想定区域	床上浸水または床上浸水が想定されることから、立退き避難が難しい浸水想定区域に浸水した場合は、必ず避難所までの安全な確保を要する
浸水想定区域外	浸水想定区域外の住居等に避難してこられた場合、避難の手順に従ってください



## 多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

**「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」について**

作成主体：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所  
 指定年月日：平成28年5月30日  
 指定雨量となる降雨：多摩川流域の48時間総雨量588mm

※この図は、多摩川水系多摩川、浅川、大栗川の洪水予報及び水位周知情報に基づき、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水範囲を示した図面です。

※この洪水浸水想定区域図は、現時点での多摩川、浅川、大栗川の河道の整備状況を踏まえ、想定最大規模降雨による浸水により多摩川、浅川、大栗川の河道に浸水しない区域に浸水しても浸水が発生するおそれがある区域を示しています。

※なお、このシミュレーションの実態にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前線となる降雨の発生による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮して算定したものです。この洪水浸水想定区域図は、浸水想定区域に浸水したとしても浸水が発生するおそれがある区域を示しています。

※詳細なお問い合わせは、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 電話：045-603-4000

**非常持ち出し品を準備しておきましょう**

避難所の備品には限りがありますので、自らが十分な準備をする必要があります。両手の空くリュックなどに非常持ち出し品を準備しておきましょう。

- 懐中電灯
- 非常食
- 携帯ラジオ
- 使い捨て食器
- 予備乾電池
- 携帯ナイフ
- ロープ
- ティッシュ
- タオル
- 貴重品
- 救急セット (常備薬)
- 育児用品
- 衣類、下着類
- 傘
- ヘルメット
- 石鹸

**避難先・避難ルート・避難方法を確認しましょう**

浸水に対して安全な避難先とルートや平時から家族や地域で確認しておきましょう。

また、自家用車の避難は、緊急自動車の進行を妨げるのと同時に、交通渋滞を引き起こすおそれがありますので、やめましょう。

**早期の避難を心がけましょう**

浸水してから自宅内避難は危険です。降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難勧告を待たずに自主的に避難を開始してください。

**近所に声をかけましょう**

単独での避難は、思わぬ事態に合った時に危険です。避難する前に近所に声をかけ、集団での避難を心掛けましょう。

**やむを得ず浸水の中を歩かなければいけない時の注意**

氾濫水は勢いが強いので危険です。また、氾濫水は濁っていますので、水の濁りや濁った水に注意しましょう。

**地下街等にいる方は、浸水に注意しましょう**

地下街等にいる方は、地上の状況を把握しにくかったり、避難経路が限定されたり、地上が浸水すると一気に水が流れてくることがありますので、浸水には注意しましょう。

防災行政無線が聞こえなかった時は・・・  
**042-338-6910**  
 (通話料のみ利用者負担)

「浸水が想定される区域」における避難行動

発行 多摩市総務部防災安全課 平成31年3月作成